



九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクスセンター

Newsletter



ラーニングアナリティクスセンターが設立されました

ラーニングアナリティクスセンター（LAC）は、教育・学習に関するデータの管理・分析を行い、教育・学習の改善に資する情報を提供することを目的として、2016年2月1日付けで設立されました。当センターは、教育ビッグデータの蓄積と分析を行うものであり、日本の大学では初のセンター組織となります。

当センターでは、2014年度から導入を進めているM2B（みつば）学習支援システムの管理・運用を行っています。また、①研究推進②データ管理③企画・評価④システム運営サポートの各担当者が連携して教育・学習に関するデータやエビデンスを一つにまとめ、教育・学習の改善案を提案することにより教育改革を目指します。

これまで授業設計や教材の改善は、教員の経験や主観に依存して行われることがほとんどでした。しかし、M2B学習支援システムを利用することにより、教育・学習のプロセスで蓄積されたデータやエビデンスをもとに分析を行い、改善点を洗い出すことが期待されます。また、得られた改善点を教員・学生にフィードバックすることにより、基幹教育院が目標として掲げる「アクティブラーナー」の育成を促進します。

今後は、九州大学内でM2B学習支援システムを長期的に運用し、継続してその効果を検証していく予定です。さらに、その検証結果を基に他教育機関・企業などへ展開し、デジタル教科書やe-Learningを用いて生涯にわたる学習ログを蓄積して、教育ビッグデータを構築したいと考えています。そのデータを分析して、教育・学習をサポートする教育用クラウド情報基盤を開発することを目標としています。

これまで、学内外の数多くの皆様のご協力を賜りながら研究を進めて参りましたが、これまで以上に、M2Bシステムの運用と研究に邁進して参りますので、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【センター長 緒方広明】



LACのロゴマークは九州大学が必携化した『パソコン』従来、学習に使われてきた『鉛筆』データの分析結果を表す『円グラフ』を表現しています。



キックオフシンポジウムを開催します

2016年11月23日(水・祝)に、基幹教育院との共催でシンポジウムを開催します。基幹教育シンポジウムとしては3回目の開催となり、今回は、学内外から講師を招いて『ラーニングアナリティクスとアクティブラーナーの育成』をテーマにした講演とパネル討論を予定しています。

学内外問わず、教育に携わる方や教育改善に興味のある方はぜひご参加ください。

LAと基幹教育シンポジウム

『ラーニングアナリティクスとアクティブラーナーの育成』

日時：2016年11月23日（水・祝）
場所：九州大学馬出キャンパス医学部百年講堂

※詳細は次号にてお知らせします。



スライドをご提供下さい！

BookLooper（デジタル教材配信システム）で公開する教材を募集しています。開講済の授業で使用したスライドや、学会などで研究成果発表をしたスライドなど、学内の方に活用してもらいたいスライドがあったら、ぜひ公開してみませんか？公開された教材を見て、研究に興味を持つアクティブラーナーが現れるかもしれません！

スライドを提供してくださる方は、M2B事務局までご連絡ください。



M2B事務局

TEL : 092-802-5857

MAIL : m2b-office@artsci.kyushu-u.ac.jp



M2B(みつば)学習支援システム講習会を開催します

教材開発センターと当センター主催のFDの一環として、M2B学習支援システム講習会を開催します。今回は、今までの入門編から一歩進んだ応用編として、具体的に授業内で活用する方法を、実践形式で体験していただきます。詳しい内容と参加申込は下記ホームページをご覧ください。

9.5
Mon.

伊都キャンパス 10:00 ~ 11:15
馬出キャンパス 14:30 ~ 15:45

9.8
Thu.

伊都キャンパス 15:00 ~ 16:15

9.6
Tue.

大橋キャンパス 10:00 ~ 11:15
筑紫キャンパス 13:30 ~ 14:45

詳細・参加申込はこちら

http://www.icer.kyushu-u.ac.jp/topics_20160719



M2B学習支援システムとは？

M2B(みつば)学習支援システムとは、eラーニングシステム『moodle(ムードル)』、eポートフォリオシステム『mahara(マハラ)』、電子教材配信システム『BookLooper(ブックルーパー)』を連携させた学習環境で、教員の授業設計に合わせて取り入れることができます。



M2Bという名称は『moodle』『mahara』『BookLooper』の頭文字からつけられました。



M2Bシステムの利用状況

M2B学習支援システムは、SSO-KIDを持つ全ての人が利用でき、2016年度前期は教職員10,486名と学生19,197名が利用可能となっています。(2016年7月現在)

授業内での利用方法は授業設計に合わせて取り入れることができますので、利用方法でお困りの場合は、お気軽にM2B事務局までお問合せください。



M2Bシステム利用授業数

Moodle	718コース
Mahara	89コース
BookLooper	107教材(41コース)

M2B ワンポイントレッスン

【教員編】

moodleのコース内に設置したリソースの順番を変えるには、「編集を開始する」を押した後、各リソースの左にある十字マーク(下図参照)をクリックすると、リソースのリストが現れます。移動させたい場所の上のリソース名をクリックすると、その下にリソースを簡単に移動できます！

← 十字マーク



メンバー紹介

基幹教育院 教授 緒方広明

徳島生まれの私にとって、夏と言えば、阿波踊りです。太鼓、三味線、笛などの二拍子のリズムが聞こえてくると、なぜか元気になります。阿波踊りは「連(れん)」と呼ばれるグループで構成され、個性豊かな踊りを披露します。是非、皆様も参加して好みの連を見つけてみてはいかがでしょうか。

